

令和2年度 第1回いわき市社会福祉審議会児童福祉専門分科会  
(子ども・子育て会議) 議事録

1 開催日時

令和2年8月26日(水) 午前10時00分から午前12時00分

2 開催場所

いわき市役所本庁舎3階 第三会議室

3 出席者

(1) 児童福祉専門分科会委員(15名のうち11名出席) ※五十音順

伊藤順朗委員、小川美代子委員、小玉則子委員、強口暢子委員、志賀達生委員、菅波香織委員、杉村理一郎委員、鈴木繁治委員、鈴木まゆみ委員、富樫那都子委員、宮内隆光委員

(2) 事務局(10名)

こどもみらい部：高萩部長、中塚次長兼総合調整担当

こどもみらい課：小島課長、園部主幹兼課長補佐、  
笹越企画係長、渡邊事務主任、鎌田事務主任、駒木根主事

こども支援課：中村課長

こども家庭課：武山課長

4 児童福祉専門分科会長の選任について

いわき市社会福祉審議会条例第6条第2項の規定により、当該委員の互選にて、強口暢子委員を児童福祉分科会長に選出した。

5 児童福祉専門分科会長職務代理者の指名について

いわき市社会福祉審議会条例第6条第4項の規定により、会長が鈴木まゆみ委員を職務代理者として指名した。

6 報告事項

(1) 児童福祉専門分科会(子ども・子育て会議)の役割について(資料1)

(2) 令和2年度児童福祉専門分科会スケジュールについて(資料2)

(3) 令和2年4月1日現在の待機児童数について(資料3)

(4) 錦幼稚園の廃止について(資料4)

7 その他

(1) 新型コロナウイルス感染症対策の主な取組み(当日配布資料)

8 会議の形式等について

・ 委員半数以上の出席があり、会議が成立していることを報告した。

- ・ 会議を公開することを確認した。
- ・ 議事録は、議事に直接関係する発言又は説明内容のみを記録し、委員名を記録しない「要点筆記方式」で作成することとした。
- ・ 議事録署名人は伊藤順朗委員、小川美代子委員の2名を選出した。
- ・ 傍聴人 4人

## 6 内 容 ～報告事項～

### (1) 児童福祉専門分科会（子ども・子育て会議）の役割について（資料1）

発言者	発言内容
会長	報告事項(1)の児童福祉専門分科会（子ども・子育て会議）の役割について、事務局より説明を求める。
事務局	資料1に基づき説明（こどもみらい課長）
会長	委員の任期にずれが生じている理由について、説明願いたい。
事務局	子ども・子育て支援新制度開始に伴い、児童福祉専門分科会の役割に子ども・子育て会議の役割が加わり、委員を新たに加えたことにより、既存の委員との委嘱期間にずれが生じている。任期に関しては3年で変わらない。
A委員	重大事故検証委員会の説明を受けたが、水石山での母子4人殺害事件や、18歳の母による0歳児の殺害事件など、児童に関する重大事件が発生しているが、当分科会で検証していかないのか。
事務局	当分科会が担う重大事故検証委員会の検証事項に関しては教育・保育施設において発生した事故が対象であり、質問の事故などに関しての役割は担っていない。
事務局	今後、概要や市の対応等に関して、報告できる範囲でご報告したい。 18歳の母と乳児に関する事件については、児童虐待死亡事例検証会議を開催し、関係機関ともに連携しながら検証を行ったところである。 分科会に対するご報告に関しては個人情報の問題などにも配慮しながら、ご報告したい。
会長	提供できる範囲で提供願いたい。  ⇒「報告事項(1)」終了

(2) 令和2年度 児童福祉専門分科会スケジュールについて（資料2）

発言者	発言内容
会長	報告事項(2)の令和2年度児童福祉専門分科会スケジュールについて、事務局より説明を求める。
事務局	資料2に基づき説明（こどもみらい課長）  ⇒「報告事項(2)」終了

(3) 令和2年4月1日現在の待機児童数について（資料3）

発言者	発言内容
会長	報告事項(3)の令和2年4月1日現在の待機児童数について、事務局より説明を求める。
事務局	資料3に基づき説明（こども支援課長）
A委員	就学児童の障がい児で特に、放課後デイサービスに関する相談が増えている。放課後デイサービスに関する充足状況、待機児童数などについて、教えて欲しい。
事務局	放課後等デイサービスの実績等について、次回ご報告したい。
会長	次回会議までに報告願いたい。
B委員	待機児童数の減少について評価する。今後の取組みについて、保育関係者との意見交換や就労環境の改善など、具体的にどのように進めていくのか。
事務局	保育関係者と改めて会議などは設けないが、保育関係者とあらゆる機会をとらえて意見交換をしているところである。 また、いわき短期大学とも意見交換を行っており、今後様々な事例や知見をいただき対策を検討していきたい。 就労環境の改善については、各給付費の中で処遇改善加算Ⅰ・Ⅱを通じて改善を促している。また、市では保育補助者雇上げ強化事業費補助金で、保育士でなくても対応できる業務を担う保育補助者の雇用を通じて保育士の業務負担の軽減にも取り組んでいるところである。
B委員	保育士の数も大事だが、保育の質を高めるという観点から、養成校も市とともに取り組んでいきたい。

C委員	<p>教育・保育従事者養成数の過去5年の推移を示して頂きたい。 また、市内で資格を取得しても、県外他市へ行ってしまうと戻って来ないので、対策を考えていただきたい。</p>
B委員	<p>データ等に出せるものがあれば次回の会議で示していきたい。</p>
会長	<p>事務局と協議しながら、ぜひ提供いただきたい。</p>
C委員	<p>公立と私立では財務状況が大きくかけ離れているため、公立と私立を分けて賃金等の処遇について考えるべきである。 また、保育所等への補助金がどのようになっているか数字を示し、かつ、公立と私立の賃金体系も比較しながら、分かりやすく示して欲しい。</p>
事務局	<p>賃金については、私立はそれぞれの設置法人等の就業規則に基づく内容となっており、また、処遇改善に係る給付の内容についても、極めて専門性が高いことに加え、施設の状況により様々であり、一律に比較することは困難である。</p>
会長	<p>私立の場合は経営的な判断が大きいことから、一概に公立と私立、幼稚園と保育所で比較するという事は難しいと思われる。 委員からの問題提起も視野に入れつつ、保育者の処遇のみならず保育の質の確保という点についてもしっかりと意識しつつ、いわきの子どもたちのためという意識で保育人材の確保方策に取り組んでいただきたい。</p> <p>⇒「報告事項(3)」終了</p>

#### (4) 錦幼稚園の廃止について（資料4）

発言者	発言内容
会長	<p>報告事項(4)の錦幼稚園の廃止について、事務局より説明を求める。</p>
事務局	<p>資料(4)に基づき説明（こどもみらい課長）</p> <p>⇒「報告事項(4)」終了</p>

～その他～

(1) 新型コロナウイルス感染症対策の主な取組みについて（当日配布資料）

発言者	発言内容
会長	その他報告事項等があれば、事務局より説明を求める。
事務局	当日配布資料に基づき説明（こどもみらい課長）  ⇒「その他」終了